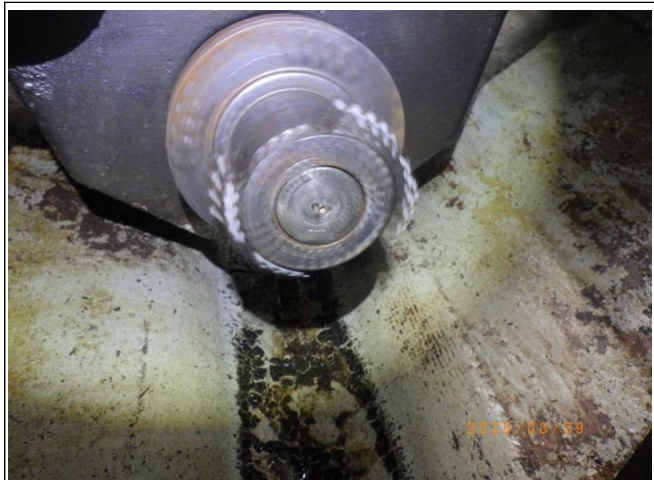


Project Name	レジャーアマリーナ保管 備前IC~20分			Trouble Title	軸封装置漏れ過多		Job Span	3月29日	Customer	BJP 大西様	No.	2020/4/6 -01
Art Name	アルビン 28	Maker	USA	Type	6LY-UT	S/N		Delivery	?	Hr/Km	?	2020/3/3
調査結果	1. 2. 3. 4.						まとめ	1. PSSリテーナはφ38Mを使用の所、シャフトは1"1/2で整合しないため、ハントで過度に修正されていた。				
							詳細下記参照					

1 シャフト振れ状況



2



3 シャフトは上下に振れ周り



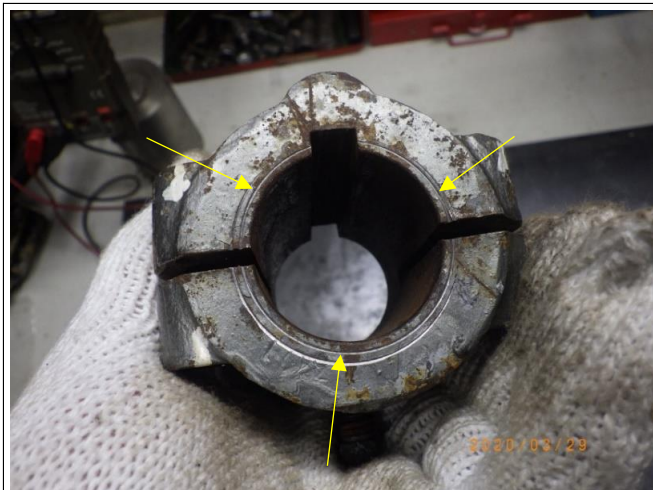
4 2000回転付近で軸封装置PSSより噴き出す



5 リング垂鉛端面が接触し摩耗している(約15mm移動)



6 カップリング簡易検査結果略正常(内側バイト加工線が正)



7 舵軸とテラ部がずれている



8 不一致の半月キーが取りついていた



9 マリンギヤ振れ量計測⇒最大0.05略良好



・上下、前後に遊び、ガタは感じられない

10 4/57°プロペラ軸曲がり計測



・シャフト前端約1/3までは表面精度が異常である
 ・ダイヤルセット位置で基準の回転"0"が得られた
 ・プロペラ側支点は問題なく
 ・矢印付近が軸封装置PSS取付部

11 基準を決めてからの振れ量最大0.4mmあり



12 正常域の表面状態(回転方向の加工状態)



13 カップリング側異常表面



14 カップリング嵌合部も異常に丸味おびている



15 プロペラ側軸径⇒φ38.11 (1"1/2=38.1)



16 カップリング側軸径⇒φ37.20~63と異常



17 カップリングが約1000mm位置まで入り嵌合した



18 カップリング側では大きな隙間となっていた

